

関係機関長 様

高知県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について

病害虫発生予察注意報第1号を送付します。

平成16年度病害虫発生予察注意報第1号

平成16年8月27日

高知県病害虫防除所

病害虫名 ハスモンヨトウ

- 対象作物 露地野菜、ダイズ、施設野菜、花き類、飼料作物など
- 発生地域 県内全域
- 発生時期 8月中旬以降
- 発生程度 多
- 注意報発令の根拠
 - フェロモントラップによる雄成虫の誘殺数は、春先から平年並～やや多めで推移しており、特に県東部では6月以降、平年の2倍程度の誘殺数となっている(図1)。
 - 南国市廿枝のサトイモほ場におけるハスモンヨトウ産卵数調査(県農業技術センター昆虫科調べ)では7月第4半旬までは平年の2倍程度の卵塊数で推移し、いったん減少したものの、再度増加し、8月第3～4半旬にかけ急増している(図2)。
 - 県下のサトイモほ場での巡回調査(8月20日～8月25日)でも、特に県東部中心に密度の高いほ場が見られ、発生の多かった昨年、一昨年の同時期を上回る卵塊数となっている(第1表)。
 - 向こう一ヶ月の気象予報では気温、降水量・日照時間とも平年並と予想されており、今後も密度の上昇が予想される。
- 防除対策
 - 老齢幼虫になると薬剤感受性が低下するので、若齢幼虫期に薬剤散布を行う。
 - 1回の薬剤散布で効果が十分でない時は5～7日間隔で数回散布するが、同一薬剤の連用を避ける。
 - 施設栽培ではハウスサイド、天窓に防虫ネット被覆を行うなど成虫の侵入防止に努める。

第1表 ハスモンヨトウ卵塊調査結果(サトイモ50株当たりの卵塊数)

調査地点		調査年 平成16年(2004年)		平成15年(2003年)		平成14年(2002年)	
		調査日	卵塊数	調査日	卵塊数	調査日	卵塊数
安芸市	川北	8/20	13	9/1	6	8/19	19
	井ノ口	8/20	26	9/1	6	8/19	5
田野町		8/20	36				
芸西村	和喰			9/1	1	8/20	11
伊野町	枝川	8/24	9	8/21	0	8/20	13
越知町	今成	8/19	26				
土佐市	新居			8/21	4	8/20	6
須崎市	上分	8/23	1	8/27	5	8/19	3
葉山村	三間川	8/23	14	8/27	6	8/19	2
中土佐町	久礼	8/23	2	8/28	20	8/19	6
中土佐町	上ノ加江	8/23	16	8/25	7	8/19	3
東津野村	船戸	8/23	1	8/27	0	8/19	3
中村市	竹島	8/25	17	8/26	15	8/20	11
中村市	古津賀	8/25	18	8/26	25	8/20	11
平均			14.9		7.9		7.8

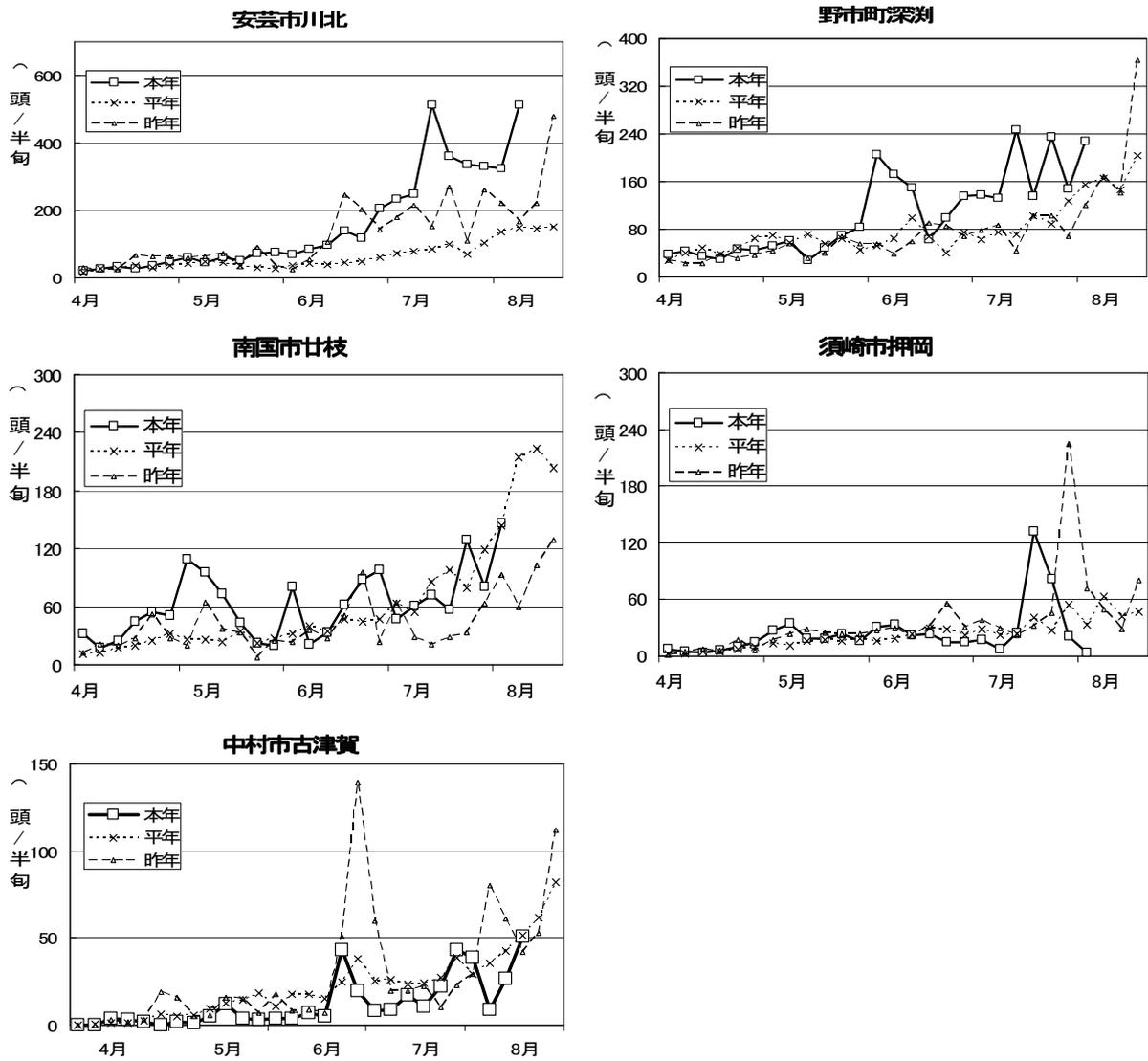


図1：各地区のフェロモントラップによるハスモンヨトウ誘殺数

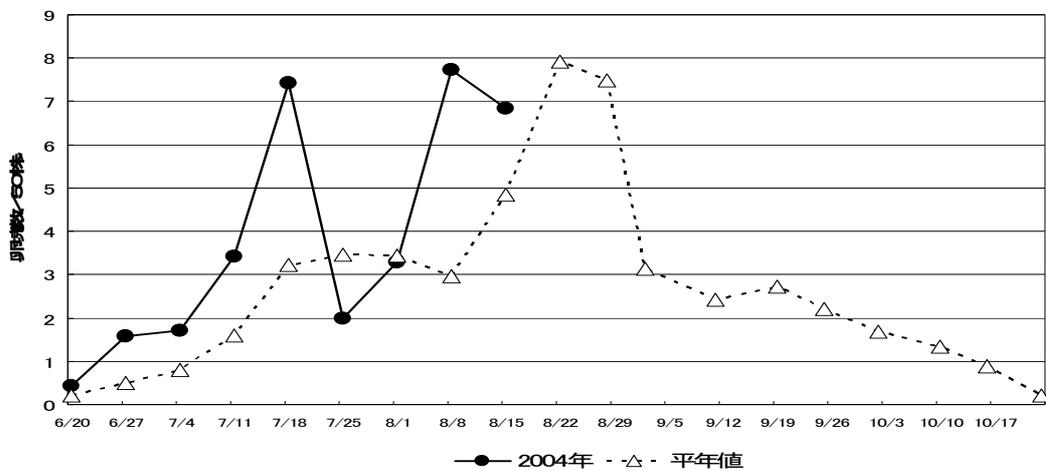


図2：サトイモにおけるハスモンヨトウ卵塊数（南国市、農業技術センター内）